

10月29日（水）太陽・マナー・計算

三年生が屋上で太陽の観察をしました。遮光板を使って、太陽の形や動きを学んだのです。この日は何度か足を運んだようで、影の位置も記録していました。太陽が動くこと、太陽が球の形をしていることは分かったようです。そして最も大切なこと、肉眼で見つめると目が痛くなるほどの熱を持っていることにも気づいた子がたくさんいました。晴れた日にしかできない活動でした。

五年生が社会科見学に出発していきました。先生の話で「マナー・ナンバーワンになりましょう」という内容がありました。数人にその意識を聞いてみると「ゴミを捨てていけない」「あいさつをしっかりとる」「迷惑をかけない」「ルールを守る」「うるさくしない」「ゴミが落ちていたら拾ってくる」などなどの回答がありました。帰ってきた職員からは「マナーを守って、しっかり学習してきた」という報告をいただきました。

一年生の算数の時間です。ロッカーに並べてある計算練習プリントに取り組んでいました。一枚終わると先生に丸をつけてもらうことになっているようです。並んでいるプリントの中に、あまり見たことがないものを見つけました。よく見ると、このクラスの子が作ったプリントでした。そのプリントに取り組んでいる子をやっと見つけて終わるまで見ていました。終わった子は、プリント作成者に丸をもらいに行きました。



10月28日（火）遠足・ペン立て・体積

二年生が遠足で、彩の森公園に行きました。午後、私も様子を見に行ってきました。ちょうどレク3（鬼ごっこ）が行われていました。各クラスが順番に鬼になり、逃げる子全員にタッチするまでの時間を競う活動です。この日優勝したクラスは約2分で全員をタッチしたようです。写真はあるクラスが鬼となって追いかける前、円陣を組



んで**作戦**や勝利への思いを確認しているところです。秋晴れの下、二年生は**思いっきり**走りました。

あるクラスに入ると、机の上に**ペン立て**がありました。多くの子がえんぴつやのり、はさみをこれに入れています。聞くと、**外国語**の時間にハロウィンに合わせて作ったようです。それを大事に使っていたのです。作り方や作った物の紹介に**英語**が使われたようですが、私には当然**日本語**で説明してくれました。このペン立ても大事にしてもらいたいです。同時にこの作成した過程の**思い出**も大事にしてもらいたいと思いました。

六年生が職員玄関で何やら活動していました。**水槽**の縦や横の長さを測っていたので、算数の授業だとすぐ分かりました。体積を測っているのです。そこに職員が通りかかり「**プール**にもいる」ことを教えてくれました。行ってみると、プールの水の容積を調べています。「縦の長さは25mだから、**横の長さ**と**深さ**を調べよう」という声が聞こえてきました。ある子は、体育館の写真を撮って、**拡大図**の学習を生かして調べようとしていました。



10月27日（月）円比べ・葉・友達

三年生が算数で、円の大きさ比べをしました。5つの**時計**が提示され、それを小さい順に並べるのが問題です。子供たちは切り取った円を**重ねて**比べたり、中心を通る**直線の長さ**を比べたり、自分で決めた数字（時刻を示すもの）を結ぶ直線で比べたりしていました。円には**中心**があること、中心を通る直線の長さによって円の大きさを比べたり表現したりできることに気づいたと思います。

二年生の教室に行くと、ある子が**タンポポ**の花を見せてくれました。中庭でとってきたと教えてくれました。するとその隣の子が、大きな**葉っぱ**を見せてくれました。更にある子は、**すすき**を見せてくれました。みんなで取りに行ってきた収穫物のようです。私は、葉の色から、改めて**秋**の深まりを感じることができました。二年生の子は、どん



な気づきや**問い**を持ったのでしょうか。

一年生が学年朝会を行い、面白い活動をしていました。

「♪**一年生になったら**、一年生になったら♪」を歌い、「**友達** 100 人できるかな」の自己評価をします。100 人友達ができたと手を挙げる子もいましたが、多くの子は「まだ 100 人はいない」と認識したようです。そして、できるだけ多くの人と**自己紹介**をし合おうという活動が始まりました。「1 年〇組の〇〇です」が始まりました。活動後、教室に向かう子たちに「友達 100 人できた？」と聞くと、「**できた！**」という元気な声が返ってきました。



10月27日（月）片づけ・地図帳・練習

一年生が朝、花のお世話をして戻ってきました。**じょうろ**を使ったようですが、片付けることに苦労していました。ある子が私を見つけて「じょうろが**高く**て片付けられないので、**やってもらえませんか**」と話しかけてきました。すばらしい**言葉づかい**に、私も「分かりました」と手伝おうとしましたが、それを見ていた友達が「**僕**がやってあげる」と、**挑戦**し始めました。じょうろは無事に、片付けられました。



三年生が地図帳を使って、**市町村**を見つける活動をしていました。先生から「草加市」「旭川市」「入間市」などの問題が出ると、地図帳からその市を見つけるのです。3 問とも断トツで**早く見つける子**がいました。「すごいね！」と言うと、近くにいた子が「〇〇さんは、**家でも**地図帳をよく見ているんです」と教えてくれました。「**習うより慣れろ**」という言葉思い出しました。自走する子が育っています。



休み時間、ある教室で**二年生**がレクを進行する練習をしていました。**見守る先生**からは、一人ひとりに評価が伝えられていました。まだ覚えていない子もいて、「よく練習しておくように」などの指示も出ていました。何気なく各教室に入っていくと、**ペア**で何かを読み合っている子



がいました。この二人もある会の進行をするとのこと。教室で自主トレをしていたのです。

10月26日（日）運動会・運転

本日は免許更新に出かけるため、本日はオフ。朝、近所の校庭には運動会の準備が雨で冷たくなっています。25日実施予定が、順延で本日になったようです。昨日よりも多く降っている雨により、今日も中止となることでしょう。同業者として、心が痛みます。

更新講習では、とっても悲しい事故の話を聞きました。ある男性が飲酒運転で事故を起こします。追突した相手とともに即死。事故を起こした男性には家族がありました。奥さんと小さな子供2人。奥さんは、被害で亡くなった家族にすべての財産を賠償しますが、相手が納得するはずがありません。小さな子供は「なぜ家にテレビがなくなったのか。お父さんはなぜ帰ってこないのか」と泣く毎日。この奥さんは、遺書を警察署に送り、3人で心中したそうです。交通事故は、その家族をも不幸にするのだと、改めて感じました。安全運転です。



10月25日（土）祭・ノート

本日から二日間、入間市の大イベント「万燈祭」です。今年は校内で不幸があったこともあり、参加しないことになります。校長室で仕事をしながらも天気が気になって仕方ありません。寒くて、冷たい雨、参加する人の健康を祈らずにはられません。提出してもらった理科のノートを見ていると、気温、台風、雨について、五年生が学習した軌跡が分かりました。今日、明日、晴れてくれたら嬉しいのですが、予報は・・・。



10月24日（金）刀・演奏・合唱

四年生の教室に緊張感が広がる瞬間がありました。普段なら楽しい雰囲気になる図工の時間です。彫刻刀でいざ板を削る瞬間です。道具は木を削るもの。間違えれば、手を切る力も持っています。「彫刻刀を使う」ことが保健室に伝えられると、養護教諭が来室者に備えることもあります。私が見ていたこの時間は、ケガ人はでなかったようです。刀は板を削るだけに使われました。

二年生の子が一人「聴いてください」と鍵盤ハーモニカをもって校長室にやってきました。自分で作った曲を披露してくれたのです。また両手で弾けるようになった曲も聴かせてくれました。その子の成長と曲に感激してしまいました。その子は教室に戻り「校長先生に聴いてもらった」ことを友達に自慢したようです。給食配膳の時間には、同じクラスの子が五人で演奏をするために校長室にやってきました。もちろん、感激いたしました。

市内音楽会出場を二週間後にひかえた六年生の合唱を聴きました。この日は外部から指導者を招いて、これまでの成果を評価してもらうとともに、課題についても指導をしていただきました。「口を縦に開く」という指導を重ねるたびに、きれいな声が出てくるようになったことが分かりました。指導して下さった先生も「素直に話を聞いてくれて、すぐに向上する子供たちだった」と話してくれました。素直な心と意欲、何をするにも大事だと思いました。本番は、11月11日です。



10月23日（木）賞状・お茶・かけ算

市内体育祭の賞状伝達を行いました。各競技で一位になった子、十人に校長室にて伝達しました。六年生女子代表リレーで一位になった四人は、次のような感想を話してくれました。「このチームで一位になって嬉しい」「去年は負けたけど、今年一位になれたことが嬉しい」「自分た



ちの**最高のタイム**が本番で出たことが嬉しい」「練習でうまくいかなかった**バトンパス**がうまくいったのが嬉しい」。賞状一枚にもいろんな思いが込められています。

三年生がお茶について調べたことの発表練習をしていました。**自走**する姿を見つけて嬉しくなりました。ある子は自分で**茶畑に行った**そうです。その写真を見せてくれました。ある子は、まとめるためにお茶の**自作キャラ**を作りました。そのキャラクターがいろんなことを紹介してくれているレイアウトになっているのです。こういう子がたくさん登場することを期待しているのです。

二年生が校内を歩いて学習していました。「かけ算のものを探している」と言うのです。ある子は**カレンダー**を見つけて「 7×4 」を発見しました。ある子は教室に貼ってある**表**を見て「 2×5 」を、ある子は**階段のタイル**を見て「 5×12 」を発見しました。答えはまだ分からなくてもよいそうです。かけ算探し、二年生の**探求**を楽しみにしたいです。



10月22日（水）掃除・リース・カルタ

無言掃除。**二年生**が黙ってやっている所を通ると、ある子が小さい声で話しかけてきました。「僕たち、**いつもよく**やっています。**ニュース**で読んで下さい」と。放送でニュース読むのは**放送委員**の子。何日号のものを読むかは、委員会のその日の担当者が決めています。ニュースで読む約束はできなかったのですが、**写真**を撮らせてもらい、扇小ニュースの記事にさせてもらいました。確かに、みんなよくやっていました。

一年生が、**サツマイモ**のつるでリースを作りました。つるをまいたり、それをとめたりするのは、意外と**難しい**ようでした。完成したリースを頭にのせて、喜んでいる子もいました。完成すると、すぐに友達の手伝いに向かう子もいました。年々**不器用**な子が増えていると多くの教職員が感じっていますが、このような作業を通して物を完成させた



子供の喜びは、今も昔も変わらないと思いました。

六年生が国語で秋のカルタを作っていました。俳句を作り、その札に絵を書いて完成するようです。私がパッと見たもののの中に、おもしろいのがいくつかありました。

ギリギリの 半そで半パン ギリさむい

秋の夜に ベッドにこもり ス〇ホする

グループ内で、頭文字の担当を決めてから始めているようで、「あ」の句はすぐに作られていましたが、「ぎ」の句を作ったのは、ファインプレーだったようです。



10月21日（火）片付け・入間市・感想

運動会終了後に片付け終わらなかったものがあります。放課後は職員総出で行いましたが、朝から六年生も自主的に片づけをしてくれていました。昇降口にある机やイスを運んでくれました。聞くと「ここが掃除場所なので、やった方がいいと思って...」と話してくれました。運動会が終わってからも六年生はリーダーとして活動してくれています。新たな扉を走り抜けています。

四年生が入間市について調べてまとめたことを発表合っていました。ある子のこだわりに、私は感激しました。アリット：1994年、万燈祭：1978年、狭山茶：1875年、おとうろう祭：江戸時代、いるまんじゅう：2015年……。市内の名産名所が始まった年を調べたようです。きっとこの子の中で生まれた大きな「問い」が、活動に向かったのでしょう。

運動会の感想や振り返りを書いているクラスがいくつかありました。一年生にとっては初めての運動会、どんなことを書いているのか、興味深くのぞかせてもらいました。「ダンスが笑顔で踊れた」「母に上手と言ってもらえた」「徒競走が2位で悔しかった」「大きな声で応援できた」「楽しく踊れた、楽しかった」「間違えずに踊れた、自分でおぼえた、よくできた」などの文を見つけることができました。運動会デビュー、達成感があったようです。



10月20日（月）振替休

本日は運動会の振り替え休日。朝から小雨が降っていたこともあり、校庭には誰もいなかったのですが、昼頃になるとサッカー少年少女が数人集まってきました。ノートを見て掲示物を作ろうと出勤したのですが、予想以上にすぐ一で運動会の感想を送ってくれる子がいたので、読み続けてしまいました。熱い思いや次への目標を書いている子が多く、よい運動会だったと改めて確信しました。



10月19日（日）日の出

昨日の疲れと達成感もあって、本日はオフにすることにしていました。特にやることもなく、朝から近所を散歩しました。久しぶりに日の出を見ました。日々、この時間はあわただしかったので、見ることもなかった日の出。新たな一日が始まることを、改めて感じました。運動会は終わりましたが、次の目標をもって、張り切って行こうと誓いました。



10月18日（土）第51回運動会

「笑って泣いて新たな扉走りぬけ」のスローガンのもと、第51回運動会が開催できました。たくさんの保護の方に集まっていただき、子供たちも張り切って燃えたと思います。素晴らしい運動会でした。

すべての演技が昨年度とは違うもの。競技も昨年度からバージョンアップしたもの。徒競走、大玉送り、代表リレー以外は、職員と子供たちの挑戦を感じさせる内容だったと思います。係の六年生もよく動いていて、ほぼ予定通りにプログラムを進めることができました。

得点が発表された瞬間の白組の子たちの喜びをみて、



子供たちの**本気**さを改めて感じました。閉会式後に六年生数人に感想を聞いてみると、ものすごく大きな**達成感**を味わったことが分かりました。

P T A本部の方々のおかげにより、観戦に関して混乱ありませんでした。素敵な写真や動画も思う存分撮れたのではないのでしょうか。

参加して下さったすべての方々に心よりの感謝をお伝えしたいです。**ありがとうございました。**

10月17日（金）準備・扉・探検

午後は**運動会準備**です。**六年生**が残り、職員と一緒に張り切って活動してくれました。校庭整備、テントや机などの設置、掲示、放送等の練習などなど。自分の担当する仕事が**終わっても**、やることを自ら見つけたり、友達の手伝いをしたりして、先生に次の仕事を訪ねたりと、誰もが空白を作らずに**働き続けて**くれました。すばらしい姿でした。この六年生が引っ張ってくれて来た運動会。すべての競技に期待してもらいたいです。

スローガンも張り出されました。「**笑って泣いて新たな扉走り抜け**」です。最高の言葉だと思います。成功や失敗、勝敗などよりも大事なことを教えてくれるメッセージです。51年目、**新たなステージ**に歩みだした本校にピッタリ、これ以上のないスローガンだと思います。貼り出された文字を見ても、改めて**感激**してしまいました。

二年生が町探検に出かけて行きました。何度か練習もかねて出ていくようです。今回は**各コース**ごとに集団での探検練習でした。「どこへ行くのか」「そこに**何**があるのか」を数人に訊いてみました。「俺の**家**」「友達の家」「イオン」「**公園**」「ジャパンミート」「**〇〇幼稚園**」などなど教えてくれました。誰かの回答を聞いて「その裏に**私の家**があるんだよ」と質問に加わってくれる子もいました。

「**〇色コース**」と聞いても正直ピンときませんが、**施設**を教えてもらって、行き先がよく分かりました。



10月16日（木）大玉・ダンス・店長

2回目の運動会全体練習を行いました。子供たちが一番張り切って取り組んだのは、何ととっても大玉送り。今回の勝負では、奇跡的な結果となりました。一回戦は50.7秒で同着だったです。そして2回戦、白が46.0秒、緑は44.8秒、その差1.2秒。見ているだけではほぼ同着です。盛り上がってきました。本番は、二日後。各色はさらに作戦などを練るはずです。

一、二年生が体育館でダンスの練習をしていました。まずは二年生の踊りを一年生が見て、その後一年生が踊りを二年生に見てもらいました。最後に舞台上上がったのは「キラキラ・ボーイズ&ガールズ」です。最高の踊りをみんなで見、素敵なおところを発表しました。表情、動き、手足の伸びなどなど、一年生も憧れのダンスを見て興奮気味でした。

ほとんどの子が運動会に向けて集中している中、すでに次の行事に向けた動きがあります。扇っ子祭の店長が集まって、担当から課題を渡されました。「兄弟学級でどんなお店を作るかを考えてくること」です。四年生にとっては初めての店長です。「みんなと遊べるのが楽しみ」「ボール投げをやりたい」などと話してくれました。二度目のリーダーとなる五年生は「今年もこれができるうれしい。二年生とつながりがもてるのが楽しみ」と語ってくれました。

10月15日（水）骨・合唱・指輪

理科室で学び合っている子供たちが、両手を当てた腰をグルグルと回しています。「校長先生も、やってみてください」と言われてやってみましたが、ここで気づきがありました。目的が分からないと楽しくないし、不安になるということです。この活動を終えた子がノートに書いたこと



を見て、何となく目的が分かりました。ノートには「骨は体中にある」「**関節**には骨がない」などの記述が並んでいました。

校長室を出て校内を巡回しようと廊下を歩きだすと、元気な歌声が聴こえてきました。「**ゴーゴーゴー**」を歌っているようです。近づいていくと、**おうぎ学級**の教室から聴こえてくることが分かりました。中に入ってみると、とにかく大きな口を開けて、「ゴーゴーゴー！」と歌っています。「**白**、**白**、**白**！」と「**緑**、**緑**、**緑**！」の部分は、特に大きな声で、相手を威圧するかのようです。**張り切って**楽しく勉強している姿、元気をもらいました。

ある**先生**が、**クラスの子を一人**引き連れて校長室にやってきました。「叱って下さい」という職員は本校にはいません。きっと何か私が喜ぶことをしたのだとすぐにわかりました。「**指輪**をもらった」という報告です。隣にいる子が**作**ててくれたというのです。かわいらしい指輪をもらって喜んでいる**先生も**素敵です。家で作ってきたようなので、きっとご家族の協力もあったはず。この子も、**その家族も**、あったかい心にあふれているのでしょう。



10月14日（火）朝会・完璧・代表

講話朝会では3つの話をしました。「**運動会**で期待していること」「二学期に**指導**したことの確認」「学校教育目標の**振り返り**」です。振り返りは、**すぐーる**のアンケート機能で行ってもらったのですが、PCの具合が悪くてこずった子もいました。教育委員会・学校と**子供をつなぐ**大事なツールなので、確実にできるように調整していきたいです。アンケートの結果については、後日集計して、お伝えします。

五六年生が、**集団演技の練習**をしていました。当日、本番を楽しみにしている私は、全部は見ないことにしています。この日は**全部を通して**やったようです。六年生が日記で教えてくれました。「**全員が完璧だった**」と書いてあり



ました。「もっと動いて一つになりたい」とも書いてありました。ワクワクしてきます。当日の大きな拍手が、今から聞こえてくるようです。こうご期待。

20分休み、放課後には、代表リレーの練習が行われていました。放課後練習は、校のために校庭に出てきた扇っ
子も、見つめる中で行われました。この日は同色でのレースが行われました。男子も女子も、とてもいい勝負。本番は白対緑で行われますが、同色内でも「負けたくない」という気持ちが伝わってきました。特に男子は、白も緑も、ほぼ同時にゴールでした。この協議も今からワクワクしてしまいます。



10月13日（月）スポーツの日

本日は祝日。スポーツの日です。仕事があり出勤しましたが、校庭では野球少年少女の元気な声が響いていました。スポーツをする子が年々減ってきているという記事を見ます。中学校の部活動や小学校のスポーツ少年団の人数も減ってきているようです。スポーツから教えられることはとても多いと思います。昭和生まれの私としては、ゲームよりもスポーツに、子供達が夢中になってもらいたいです。



10月12日（日）ハロウィン

一日外出しましたが、いたるところでハロウィンが近づいたことを教えてくれるモノに出会いました。駅や店、広告などなど、カボチャをたくさん、たくさん見ました。街全体で盛り上げている所もありました。先日、秋の俳句を作っている授業を見た時にも、ハロウィンを取り上げている子が一番多かったです。私にはあまり重要な行事ではありませんが、子供たちにとっては秋の大イベントのようです。



10月11日（土）体育祭

向原中学校の体育祭に参加してきました。小雨が降る中でしたが、生徒はみな元気でした。開会式での生徒の言葉での「雨がやむように燃えましょう」や、各団のエールでも「太陽を呼び込もう！」という声が、生徒の願いを示していたようです。昨年度の六年担任も傘をさして応援していました。寒い日でしたが、熱い青春を見てきました。



10月10日（金）練習・旗・作戦

運動会の練習も熱を帯びてきました。特に集団演技の練習は、校庭で毎日見ることができます。本番以上に張り切った表情を見ることもできます。教室でも練習しているクラスがありました。動画を見ながら、手の使い方などを確認しています。先生もノリノリで踊っています。広い校庭ではなかなか細かいところまで指導が行き届かないこともあります。このような教室での練習も大きな効果が望めるのです。



今年の運動会でも、高学年のフラッグ演技が感動を与えてくれそうです。数人の六年生に見どころを聞いてみました。「キレッキレです」「交互に振る所がきれいです」「旗を振る所は、全部きれいです」などと、頼もしいことを教えてくれました。「全力でやってる」「チームワークがすごい」など、集団としての取り組む姿勢についても自慢してくれる子もいました。



あるクラスの学級活動では、集団競技の作戦を考えていました。この競技には「カリスマ」があるようで、これについての案がたくさん出ていました。「カリスマには力のある子が集まる」「カリスマには、速い子が5人で行く」。他にも、「姿勢を低くして・・・」「移動を忘れずに・・・」などの作戦案も出てきました。話し合いの途中で、隣のクラスの先生が顔を出すと、皆がワークを隠していました。作戦ですから、秘密なのです。



10月 9日（木）全体・トンボ・骨

運動会全体練習を行いました。開会式、応援合戦の並び方の確認、校歌と「ゴーゴーゴー」の合唱、応援合戦の練習、そして、大玉送りの練習をしました。大玉送りは今回が初めてです。並び方やルールの確認を各色で行い、練習試合も行いました。行きは転がし、帰りは人の上を運ぶ、昨年度からの競技形式は、とってもおもしろいと感じていました。なかなか転がらない、前に運べない、この課題を本番はどのように解決するのでしょうか。

保健室前の廊下に、大きなオニヤンマが飛び込んできました。全校練習で子供たちが外に出ている隙に入ってきたようです。六年生に頼んで、一年生に届けてもらいました。優しい六年生数人が何とか捕まえて、一年生の教室に届けると、一年生は大喜び。あっという間に、虫かごに輪ができました。毎日のように虫取りをしている一年生にとって、この六年生の姿に憧れの思いを抱いたことでしょう。

理科室から笑い声が聞こえてきました。入ってみると、四年生が自分や友達の体を触って、学び合っています。体の骨の数を数えているようです。「ここにも骨がある」と、互いの鼻を触ったり、「何本あるか数えて」と言って、友達に肋骨の数を調べてもらったり、「くすぐったいよ」の声も聞こえてきました。骨の数、人だけでなくいろんな生き物で、探求してもらいたいものです。



10月 8日（水）除草・反対・自信

二学期二度目の全校除草作業。前回、大量の雑草を取ったので今回はあまり集まらないと思っていたのですが、想像以上に扇っ子の張り切り活動が必要だったと気づかされました。体育館に集まってきたゴミ袋は前回と同じ程度です。100を超える袋が積み上げられました。良くぞ取ってくれたと感心するほどです。「一人で4袋」「クラス



で30袋」などなどの報告も入ってきました。

二年生が国語で「反対の言葉」を集めていました。ノートには「天国と地獄」「大人と赤ちゃん」「あついとさむい」「はやいとおそい」などなどの言葉がたくさん書いてありました。その中でも特におもしろいと思ったのがいくつかありました。「国語と算数」「宿題とゲーム」「カチカチとフワフワ」「たし算とひき算」など。書いた子供の中では反対が成立しているのでしょうか。

音楽の時間、あることが先生から発表されました。「発表会を10月15日に行う」ということです。反応は様々でした。「来週？無理だよ」「よし！できる！」など賛否様々です。先生は「皆さんならできる」「他のクラスもできた」「今日練習の時間を作る」旨を伝え、子供たちも笑顔になりました。自信のない子には、このような声かけが必要なのだと勉強になりました。



10月 7日（火）応援・順番・刀

体育朝会では、3つの確認をしました。開会式の並び方、応援合戦への移動、そして応援合戦の流れです。最後は、各色事で行いました。これまで各教室で練習してきた応援合戦を、初めて全学年でそろえました。緑も白も、本日までの応援団のがんばりを感じさせる内容でした。本番は、もっともっと、張り切った声が響くはず。51回目の運動会も、楽しみになってきました。

あるクラスでは、徒競走の順番を確認していました。何レース目に走るのか、誰と走るのか、自分は何コースを走るのか、並んだ時に自分の前の子は誰なのか。先生が確認してみると、覚えている子は数人でした。黒板に出走表を張り出して「覚えてください」という指示が出ました。始めのうちは黒板の前に出てきて必死に記憶しようとしている子ばかりでしたが、一人がPCで撮影すると、その活動が広まりました。便利な道具は使った方がよいのです。記憶力を高めるためにも、確認できる根拠が必要です。



四年生が図工で彫刻刀を使います。そのオリエンテーションが行われていました。彫刻刀を初めて手に取る子も多く、使い方や注意点をていねいに先生が説明していました。安全に関することについては、ていねいに厳しく、本校の先生は指導します。「任せてよい」ことではないからです。期待に胸膨らませている子ばかりですが、恐怖や不安の気持ちを持つことも大切です。



10月 6日（月）虫・校歌・報告2

朝、元気に校庭に出てきた一年生数人が虫取りを始めました。一人が虫かごを持っています。おめあてのバッタはなかなかの韋駄天で、四五人が追いかけてもついに捕まりませんでした。姿は見えているのです。放送があり、教室へ戻るこの子たちも「収穫0」で少しがっかりしていました。そこへ、このことを知ってか知らずか三年生が、「このバッタいる？」と、昇降口へ話しかけていました。三年生が捕ったバッタは、一年生の虫かごにおさめられていきました。



本日から二年生の授業をして下さることになった新職員が、自己紹介をしました。その中で「扇小の校歌が一番好きで、覚えている」という言葉がありました。この会を進行していた先生が機転をきかせて、校歌斉唱の時間をつくってくれました。お世話になる先生が「好き」だと言ってくれた、我が校の校歌を、二年生が張り切って楽しく歌ってくれました。私も、この校歌が大好きです。



市内体育祭の結果報告、続きです。2回に分けて行った今回は、台本の中に感想を言う個所を作っておきました。このパートを請け負った四年生は、次のようなことを言ってくれました。「応援している姿もすばらしかった」「六年生は去年の経験を生かしていると思った」「六年生は中学校へ行ってもがんばってほしい」「五年生は来年ももっとがんばってくれると思う」。素敵な放送になりました。



10月 5日(日)『?』→自走

本日は出勤。金曜日に提出してもらっていたノートやワークを見ました。「振り返り」で、疑問に思ったことを書いている子がどれくらいいるのかを確認するためです。さらに、どんな『?』が生まれたかを知りたいためです。低学年の算数と国語、高学年の理科・外国語、そして自主学習ノートには、たくさんの探求の種や探求の形跡がありました。自走する子は確実に育っています。



10月 4日(土) 彼岸花

用務があり埼玉県の一部に出かけました。途中、いろんな場所できれいな彼岸花や白鷺を見かけました。彼岸花について調べると、花言葉は「悲しい思い出」「あきらめ」「独立」「情熱」とありました。「悲しい思い出」はよくわかります。お彼岸、お墓参りに行くことが多いからです。他の言葉についてどんな意味が込められているのか、『?』が生まれました。



10月 3日(金) 演技・おもちゃ・報告

運動会に向けて、高学年の集団演技の練習も始まりました。この日は、初めての練習のようです。実行委員の子が考えたダンスをまず披露しました。「これはすばらしい！」と私は思いました。このダンスを全体でできたら、感動的だと確信しました。実行委員にはできましたが、他の子がどれだけできるか、これからの練習にかかっています。「今年のテーマは個性」と実行委員が説明していましたが、ここでも自走する子が誕生してもらいたいです。

二年生が自分で作ったおもちゃで遊ぶ会を開きました。この会に一年生を招待したのです。一年生は大喜びで、おもちゃで遊んでいました。迷路でゴールしたり、ビー玉を転がして高得点が生まれると歓声も上がっていました。中



には賞品を用意していた二年生もいました。私ももらいました。異学年の活動が減ってきている中で、このような交流はもっと大事にしていきたいものです。

昨日行われた市内体育祭の結果を、四年生が放送で報告してくれました。各種目の入賞者を読み上げてくれたのです。練習などありません。速報の原稿を、緊張しながらもしっかりと読み上げてくれました。毎年、市内体育祭後には四年生がこの活動をするになっています。来年は出場する側です。そして今の三年生は、来年はレポーターとして活躍してくれるはずです。



10月 2日（木）体育祭・交流・応援

順延となった市内体育祭が行われました。黒須小学校、東町小学校、豊岡小学校の順に本校に到着し、晴天です。集合した黒須小学校が元気な声で準備運動を始めると、扇小五六年生も習って始めました。六年生の一人が前に出て、屈伸運動などを行ってくれました。それぞれの学校が早めに準備運動を終えたので、予定よりも少し早く開会式が始められました。

感動的な場面を最初に見たのは、走り高跳びです。男子は一人が成功させると、他の学校の子も一緒になって大喜びをしているのです。ハイタッチしたり、抱き合ったり、いつこんなに仲良くなったのか不思議なほどです。リレーでは逆に、他校の子が慰めたり励ましたりしている場面もありました。この会の目的である、素晴らしい交流ができた嬉しく思いました。

四年に一度の本校会場だったために、四年生以下の子も休み時間等に応援に来てくれました。「おうぎ、おうぎ」の音が響く時間もありました。五六年生の姿を見た四年生は、きっと来年度の大会に向けて燃えるものがあつたはずです。生で先輩の雄姿を見た体験は、きっと大きな成果をもたらしてくれるはずです。



10月 1日（水）練習・表紙・係

10月になりました。運動会の練習も本格的に始まりました。体育館には一、二年生が集まっていました。集団演技の練習が始まります。前に立った二人の二年生が一言ずつ全体に話をしました。「動きを覚えましょう」「大きく動けるようにしましょう」。後で聞いてみると、実行委員の子が毎回めあてを伝えていくことになっているようです。低学年でも自主的な練習態度が育ってくれたら嬉しいものです。

あるクラスに、運動会のプログラム表紙の絵を書いている子がいました。本校では毎年、この表紙の絵は子供が書いたものにしています。誰の絵が採用されるか決まるのはまだ先です。この子が一生懸命に書いていたのは、玉入れをしている場面でした。昨年の運動会を思い出しながら書いているのだと想像しながら見ていました。昨年の運動会を思い出しながら見ていました。一年は早いです。

一年生が係活動を行っていました。「せんせいかかり」というポスターを作っている子がいたので、何をするのか訊いてみました。「休み時間に算数の勉強を教えたい」と教えてくれました。ポスターをよく読むと、そのことがしっかり書いてありました。この二人は「書いてあるよ」とは言わずに教えてくれました。情報化社会で、何でもデータ等を読んで理解しなければならなくなっていますが、やはり肉声で説明し合うことも大事にしたいと感じました。

